

intertek

news

Vol.91

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 新年のご挨拶

02 特集

03 ISO 14001規格改訂要求事項(国際規格案)の全体像

04 News&Topics

- ▶ 世界のISO認証件数が公表
- ▶ FSSC 22000 Version7 発表へ
- ▶ ビジネスマッチ東北2025/脱炭素経営EXPO関西2025に出展
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社ヨシダセイコー 津幡工場)
- ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「パフォーマンス評価(4)」

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「ペランダからの風景 -健康のありがたさ-」
(審査員 林 憲治)
- ▶ 環境よみもの「ゆらぐ時代と、つなぐ力」《新》
「ISOとともに未来を見つめて」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「日本を代表するブレッドカンパニーへ」
(株式会社スタイルブレッド)
- ▶ 「創業120年を迎えるベンチャー企業」
(オズ株式会社)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(株式会社日本海メディカル)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

新年のご挨拶

 きむら ともあき
代表取締役 木村 朋聡

新年あけましておめでとうございます。

2025年は、国内外ともに大きな節目と変化の年となりました。経済環境の不確実性に加え、記録的猛暑や局地的豪雨災害が続き、気候変動の影響も一層深刻化しています。こうした環境課題は、企業活動やサプライチェーン全体に影響を及ぼし、持続可能な未来への対応が急務となっています。



ISOマネジメントシステムにおいては、2024年に気候変動への配慮を求める追補が加えられましたが、さらに改訂版への発行に向けて進行しており、本年春頃にまずISO 14001、秋頃にはISO 9001、それに引き続きISO 45001と主要規格の改訂が予定されています。新版では、気候変動に関する要求事項の正式な統合に加え、サステナビリティ(持続可能性)の強化、リスクと機会の管理の明確化、企業ガバナンスの透明性向上などが盛り込まれる見込みで、ESG(環境・社会・ガバナンス)や、GHG(温暖化効果ガス)排出量の検証と削減等への対応が求められる昨今の市場環境や情報開示基準の整備といった動向とも深く関係しています。改訂に伴う移行支援として、準備対応に向けたオンデマンドセミナーなども順次開催しておりますので、詳細は弊社ウェブサイトをご参照ください。

また、AI技術の急速な普及に伴い2023年に発行されたAIマネジメントシステム、ISO/IEC 42001の国内での認証が昨年正式に開始されました。AIの活用が広がり、製品やサービスの開発・提供・利用における信頼性や透明性、責任ある運用を確保するための仕組みの重要性が高まる中、企業にはAIガバナンス体制の整備が求められており、弊社でも取り扱いに向け準備を進めております。

近年、企業を取り巻く環境は大きく変化しており、特にサステナビリティが企業経営の重要なテーマとなっています。インターテック・サーティフィケーションでは、ISO関連サービスに加え、サステナビリティ支援や企業ガバナンスで必要性が高まっているESGやGHGへの対応、さらにサプライチェーン全体の信頼性確保やトレーサビリティ向上に向けたサービスも展開し、お客様のトータル品質のパートナーとして、あらゆる品質課題に対するサポート拡充に努めております。私たちインターテックグループの提供する試験・検査・認証サービスは、品質や安全を保証するだけでなく、社会の持続可能な発展を支える重要な役割を果たしています。加速的に広がる昨今の市場変化のスピードに対応できるよう、お客様の成長と発展、またグローバル市場への事業展開実現に向けて引き続きお手伝いをさせていただきます。

最後に皆様のご支援と信頼に感謝申し上げます。私たちの仕事はすべて、「品質・安全・サステナビリティを世の中にもたらす」という大きな使命につながっており、新たな年に向けてお客様のあらゆる課題に対するソリューションを提供できるよう社員一同精進してまいります。

新年が皆様とご家族の方々にとりまして、健康で幸せな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。